

6年 国語科「自分の考えを発信しよう」の実践

意見文を書いて、自分の考えをクラスの友達に伝えます。自分自身が日頃感じていることや考えていたりしていることを基にアンケートやインターネットを活用して説得力のある意見文を作成し、伝え合い、考えを深めます。

○ タブレットの活用場面

対話をして、考えを深める場面

グループに分かれて、自分で調べたことを発表し合います。自分が調べたことを友達と共有し合うことで、日頃、クラスの友達が感じていることや考えていることへの理解を深めます。

また、ロイロノートのアンケート機能を使って、クラスの友達に質問をしたり、インターネットなどを活用したりすることで、発表に説得力を持たせます。そして、アンケート結果などをロイロノートで提示しながら、意見文を伝え、発表の際には、考えを深めます。

○ 授業の様子（アンダーライン：今後の課題）

まず、普段の生活において、自分が感じていることや疑問に思っていることを考えました。

そして、自分が感じている疑問や考えていたりしていることを、クラスの友達に共有するためにタブレットを活用し、インターネットから情報を得たり、自分の必要になりそうな資料を手に入れるなどして準備をしました。また、クラスの中には、必要に応じて、クラスの友達からロイロノートのアンケート機能を使って、クラスの状況や考えを載せている子や実際にその場に行き、写真を撮って実際の資料として活用したり発表する準備をしました。

その後、実際の発表の時には、右の写真のように、タブレットを提示しながら、クラスの友達に自分の意見文に根拠を持って発表することができました。発表が終わったらその都度その意見文に対しての質問や疑問などを友達に投げかけ、回答をする時間を設けました。



最後に、振り返りとして友達の発表を聞いた後で自分に足りなかったことや上手にできたことなどを考え、ノートにまとめることができました。

自分の意見を聞いている友達にどのような伝え方を【資料を見せながら説明をする様子】すると納得しながら聞いてくれるのかを考えながら、進めていくことができました。説得力を持たせるために、インターネットから資料を引っ張ってくる様子や、アンケート機能を使いながら、自分の意見文を作っていく様子がありました。また、自分以外の発表を見た後に、素直に「そうすればよかったのか。」や「もっとこうしてみよう。」などの前向きな発言が見られ、今の意見文よりもいいものを作れるようになりたいという意識が見られました。

しかし、中にはインターネットで出てきた情報を鵜呑みにしてしまい、真偽のほどが定かではない情報や、自分の伝えたい情報に完璧にかみ合っている資料を用意することができなかった児童がいたので、情報の取捨選択を正しくできるように指導していくこと。そして、話し合いの時間の中で、感想を伝え合う時間に何を伝えるのかを全体で再度確認してから望む必要があると考えました。